

2015年2月21日（土）
黒斑山（2404m）

7年ぶりに黒斑山（2404m）の雪山ハイクを計画し、吉松さん、石井さん、熊本の3名が参加した。
佐久平まで東京駅6:52発の長野新幹線で行く。



東京駅新幹線の改札口はスノボーの面々で大混雑、ホームでも上越方面（谷川号）は長蛇の列であった。



長野新幹線「あさま 503号」は大宮で立席も一杯になったが、高崎を過ぎると立人は消えていた。



8:20に佐久平に到着。
8:40発のアサマスキー場行のバスは30名ほど登山客、スキーヤーが並んだ。



バス停付近から、青空に浅間山の真っ白な姿が見える。



バスは快調に走り標高 1500m 迄高度を上げると、北アルプスの山並みが見えだし、更に 1800m付近まで来ると富士山の山頂が頭を出した。



9:35 車坂峠に到着し、大半がここで下車した。積雪は 6, 70 センチ程度か？
早速アイゼンを装着し、登山準備をする。



登山準備を終え、石井さん、熊本は火山ハイクへの備えとしてヘルメット着用をトライした。
快晴、無風で思ったより寒くない。
竈ノ登山をバックにスタートの写真を撮る。



9:55 に車坂峠 (1973m) を出発し、2404m の黒斑山頂を目指す。
登りは表コースを取る。



雪質はサラサラで、登山道は良く締まっており歩きやすい。
アイゼンが喰い込む「キュキュ」の音が気持ちよく響く。



足跡のない新雪の真綿のようにフックラした雪原が広がる。



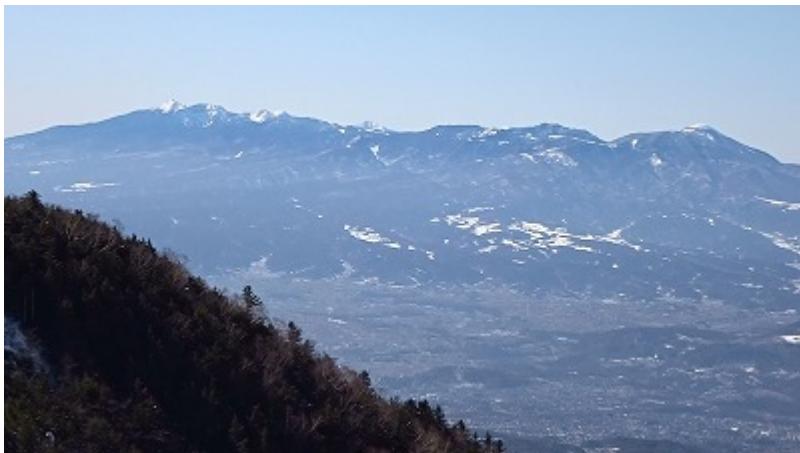
20分程登ると開けたピークにでる。



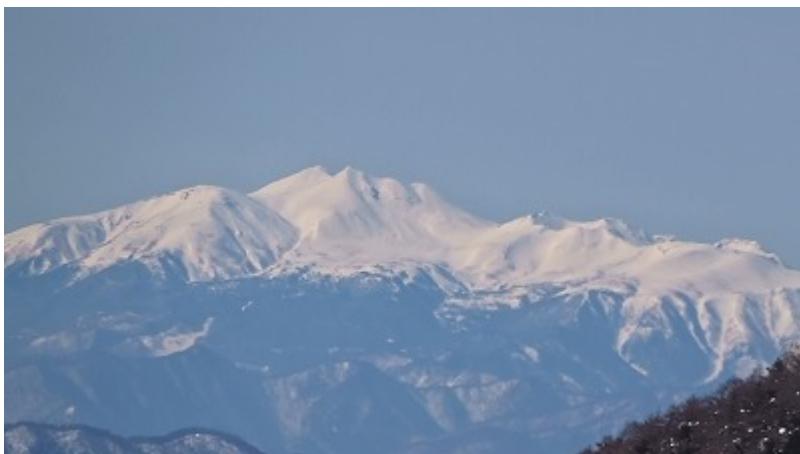
富士山への展望が開けていた。



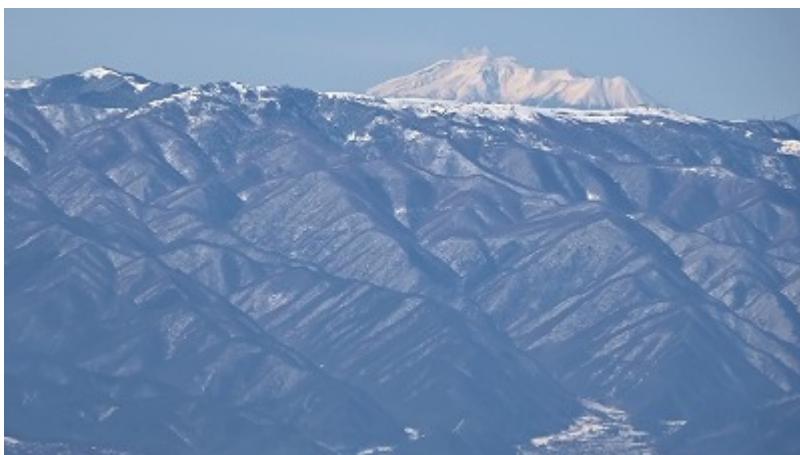
更に 20 分高度を上げ振り返ると・・



八ヶ岳が見え、左端が赤岳、右端が蓼科山で、八ヶ岳は、余り雪は多くない。



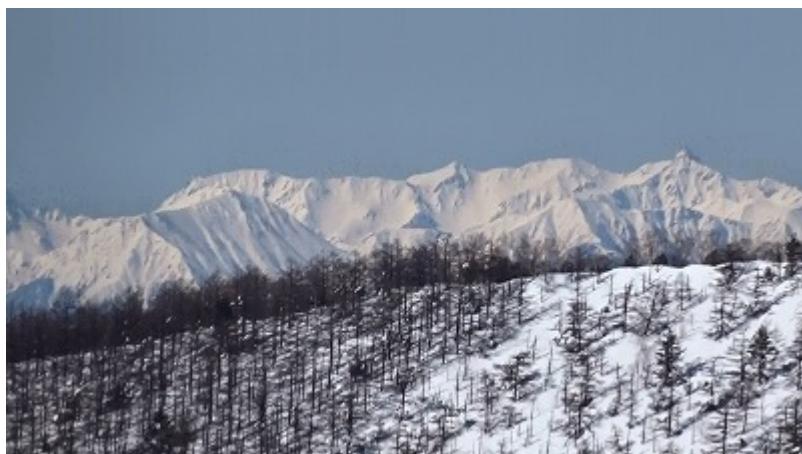
中央アルプスも近く見え、木曽駒が岳、宝剣岳がクリクリ見える。



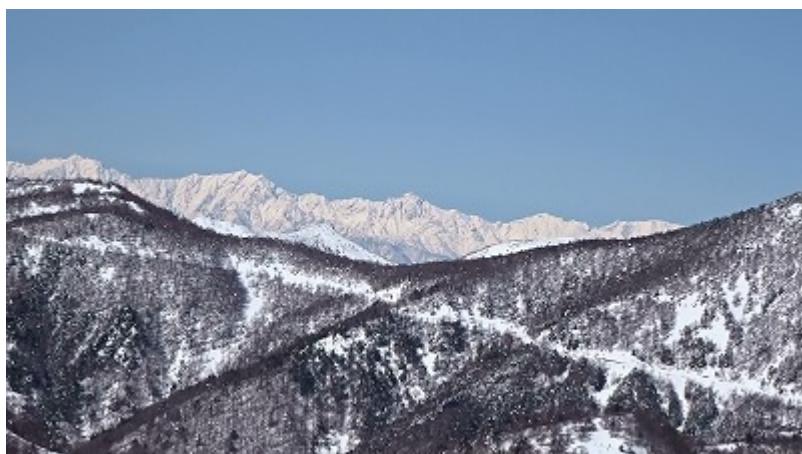
右に目を転じると、木曾御嶽山が見え、山頂左側付近から噴煙を上げている。



穂高連峰から大キレット



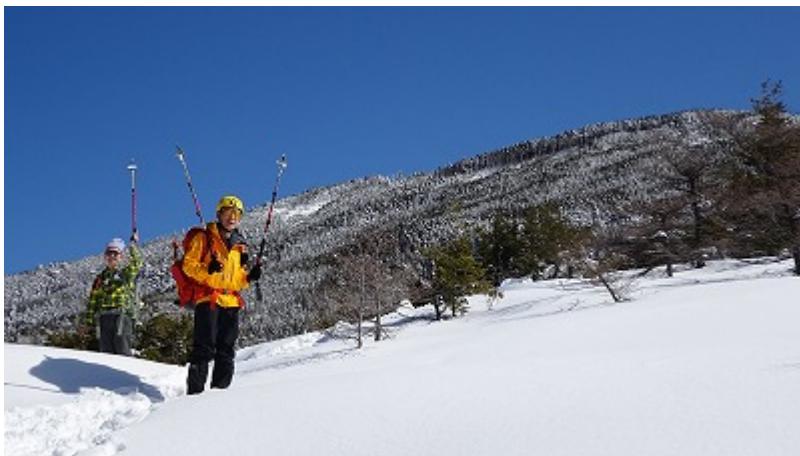
蝶が岳、常念岳、大天井岳、そして、最右端が槍ヶ岳の穂先だ。



更に右側には双耳峰の鹿島槍、中央に五竜、唐松、白馬の峰々が連なっている。



暫く、大パノラマを見ながら小休止。



更に高度を上げる。
雲一つない青空と雪の白さが眩しい。
この辺りで積雪は、1m50位はあるだろうか？



大パノラマの絶景に歓喜の声を上げる



車坂峠から80分程登ると槍ヶ鞘に到着、目の前に浅間山が飛び出した。
(11:26)



火山時避難用のシェルターも雪にスッポリ埋まっていたが入口は空いていた。



全容を現した浅間山を背景に記念の一枚。



この槍ヶ鞘から一旦下り、写真左に見えるトーミの頭への急登を登る。
空の青さが目に染みる。

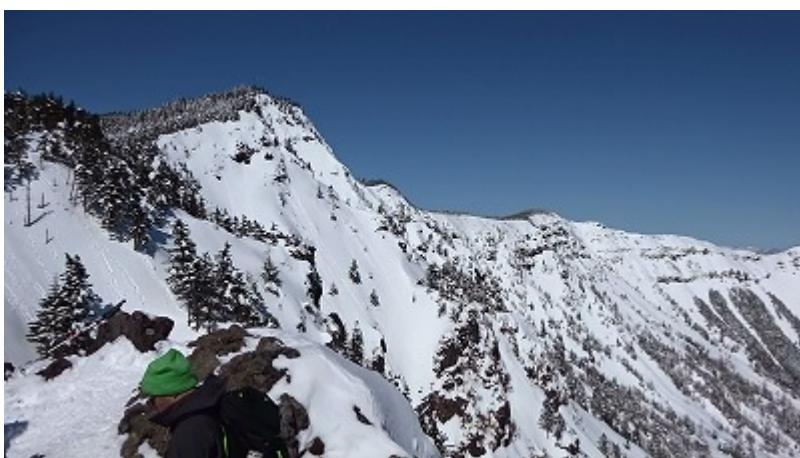


トーミの頭への急登はきつい！

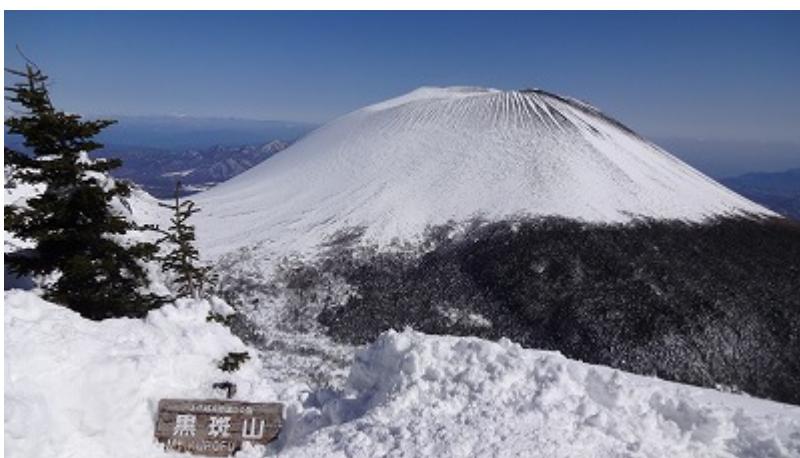


約 20 分の急登を詰めてトーミの頭に到着する(11:55)。

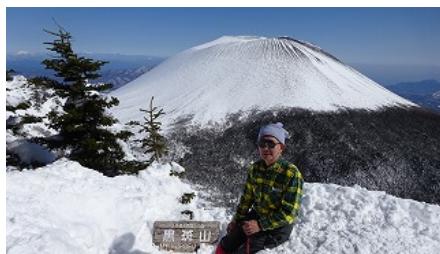
ここまででは予定のコースタイムで来た。
ここで昼食とする。



トーミの頭から黒斑山 (2404m) の山頂を見上げる。後標高差 100m 位だろう。



昼食を終え、標高差 100m を登り切り、
黒斑山山頂 (2404m) に 12:55 に到着した。
山頂の標識は雪に埋まり掘り返されてあつた。



山頂で浅間山をバックに記念の一枚



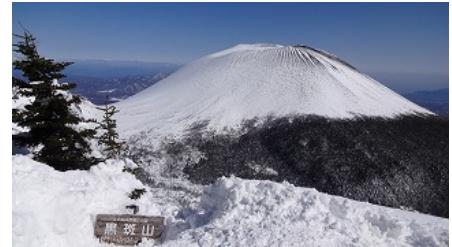
浅間山を背景に記念の一枚



2013年9月時の標識の位置



2008年の2月時の標識の高さ



今回の標識は埋まって堀起こし



過去に登ったときは山頂火口から噴煙が上がっていたが、今回は、噴煙はあがってなく、火山活動も下火か…



12:53 下山開始



下山ルートは樹林帯の中コースを取り、車坂峠の出発点に戻る



新雪が深く足を取られながらも快調に下る。



13:42 出発点の車坂峠(1973m)に戻った。予定のコースタイムより 30 分ほど早かった。



車坂峠の高峰高原ホテルにある「こまくさの湯」（天然温泉：¥500）で入浴し、ホテルの喫茶ルームにて、生ビールで乾杯！

サービスで出してくれた自家製のダイコンと野沢菜の漬物が美味かった。



16:00 ころ、まだ窓越しに富士山が見えていた。



16:19 のバスを待つ。

石井さんは温泉入浴後、衣装を全て変え、オレンジ一色、靴、ザックまでオレンジ色だ。

（オレンジ色の帽子もあるがそこまで
は・・・ですと・・・）



佐久平駅に 17:20 に到着し、新幹線の出発まで 30 分あり、土産物屋で地酒（藤村のにごり酒）を仕入れ・・



17:52 のあさま 542 号に乗る予定だったが
8 輛編成で自由席車両は 3 輛しかなく、3
人固まって座席を確保できなく、18:33 発
の 12 輛編成あさま 544 号に乗ることにし、
誰もいなくなったホームで再び飲み始め
て、結局、電車来る前に
藤村のにごり酒を空けてしまった。

今日は終日、風がなく青天井の快晴で暖かく、北アルプスも近くに大きく見え、富士山も姿を見せ、庄卷は雄大な浅間山を間近に見られ、雪山ハイクを満喫しました。